

第1編 衆議院議員総選挙及び  
最高裁判所裁判官国民審査

# 第1章 衆議院議員総選挙

# 1 選挙長及び同職務代理者

選挙区	選挙長		選挙長に事故があるとき、又は選挙長が欠けたとき、その職務を代理すべき者	
	住所	氏名	住所	氏名
第1区	北九州市小倉北区青葉2丁目11番5号	宮崎時春	福岡市西区西新6丁目5番12号2-102	牧隆壽
第2区	福岡市博多区博多駅前1丁目19番3-702号	野上武彦	北九州市八幡西区永犬丸西町2丁目13番16号	黒河吉男
第3区	三井郡大刀洗町大字本郷2619	平田糸次郎	三井郡北野町大字金島321番地	橋本義澄
第4区	福岡市中央区輝国2丁目12-12輝国住宅155号	衣笠哲生	北九州市戸畑区中原西3丁目8番36号	河崎純人

# 2 立候補者に関する調

## 第1区

届出順位	届出年月日	届出の別	候補者						
			ふりがな氏名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業
1	昭和54年9月17日	本人	はちろう しのざきため八郎 (本名篠崎為八郎)	男	福岡県福岡市 西区西新6丁目 800番地の147	福岡県福岡市 西区姪浜町17 91番地の93	昭和19年 5月28日 (満35才)	無所属	アート建築 代表
2	昭和54年9月17日	本人	いはただよし 井原忠良	男	福岡県糸島郡 志摩町大字松 隈138番地	福岡県糸島郡 志摩町大字松 隈138番地	昭和6年 12月5日 (満47才)	無所属	井原政治経 済研究所主 宰
3	昭和54年9月17日	本人	おおた せいいち 太田誠一	男	福岡県福岡市 西区城西1丁 目72番地	福岡県福岡市 西区城西1丁 目5番11号	昭和20年 10月30日 (満33才)	自由民主党	経済評論家
4	昭和54年9月17日	本人	やま ひろし いさ山 博 (本名 諫山 博)	男	福岡県福岡市 中央区大名2 丁目251番地	福岡県福岡市 中央区大名2 丁目10番20号	大正10年 12月5日 (満57才)	日本共産党	弁護士
5	昭和54年9月17日	本人	たなか しょうじ 田中昭二	男	福岡県八女市 大字本町186 番地の1	福岡県福岡市 博多区博多駅 南3丁目15番 30-401号	昭和2年 1月6日 (満52才)	公明党	公明党福岡 県本部副本 部長
6	昭和54年9月17日	本人	やまさき たく 山崎拓	男	福岡県福岡市 西区西新町20 63番地	福岡県福岡市 南区高宮3丁 目22番3号	昭和11年 12月11日 (満42才)	自由民主党	厚生政務次 官
7	昭和54年9月17日	本人	うえむら かずお 上村和男	男	福岡県大牟田 市大字久福木 866番地の8	福岡県福岡市 博多区吉塚1 丁目7番8号	昭和24年 1月1日 (満30才)	日本労働党	日本労働党中 央委員会労働 組合運動対策 部委員
8	昭和54年9月17日	本人	ざきやのすけ なら崎 弥之助 (本名橋崎弥之祐)	男	福岡県福岡市 博多区中呉服 町79番地の2	福岡県福岡市 東区大字名島 2438番地の9	大正9年 4月11日 (満59才)	社会民主連 合	社会民主連 合書記長
9	昭和54年9月17日	本人	つじ ひでお 辻英雄	男	福岡県福岡市 西区藤崎1丁 目10番地	福岡県福岡市 南区長住2丁 目18番21号	大正8年 7月8日 (満60才)	自由民主党	新政治経済 研究会理事 長
10	昭和54年9月17日	本人	こばやし ゆき 小林よし幸 (本名 小林喜幸)	男	福岡県福岡市 東区大字名島 2273番地	福岡県福岡市 中央区鳥飼3 丁目10番20-2 06号	昭和22年 1月18日 (満32才)	無所属	中井産業有 限会社総務 部長
11	昭和54年9月17日	本人	ただし かわの 正 (本名 河野 正)	男	福岡県粕屋郡 篠栗町大字尾 仲139番地	福岡県粕屋郡 篠栗町大字尾 仲139番地	大正3年 1月1日 (満65才)	日本社会党	河野病院長

## 第 2 区

届出 順位	届 出 年 月 日	届出 の別	候		補			者	
			氏 名 ふりがな	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和54年 9月17日	本 人	みやた さなえ 宮 田 早 苗	男	福岡県北九州 市八幡東区祝 町2丁目1235 番地	福岡県北九州 市八幡西区别 当町10番11号	大正 8年 6月12日 (満60才)	民 社 党	民社党中央 執行委員
2	昭和54年 9月17日	本 人	まつもと しちろう 松 本 七 郎	男	福岡県北九州 市戸畑区一枝 1丁目63番地	福岡県北九州 市戸畑区夜宮 1丁目1番15号	明治44年 11月15日 (満67才)	日本社会党	日本社会党 役員
3	昭和54年 9月17日	本 人	みはら あさお 三 原 朝 雄	男	福岡県遠賀郡 遠賀町大字鬼 津3605番地	福岡県遠賀郡 遠賀町大字広 渡1819番地	明治42年 8月20日 (満70才)	自由民主党	国務大臣総 理府総務長 官沖繩開発 庁長官
4	昭和54年 9月17日	本 人	たがや しんねん 真 稔 (本名多賀谷真稔)	男	広島県呉市広 町 16705番地	福岡県嘉穂郡 穂波町大字枝 国 666番地	大正 9年 1月5日 (満59才)	日本社会党	日本社会党 書記長
5	昭和54年 9月17日	本 人	おざわ かずあき 小 沢 和 秋	男	東京都国立市 東4丁目25番 地の13	福岡県北九州 市八幡東区尾 倉3丁目1番 24号	昭和 6年 9月15日 (満48才)	日本共産党	日本共産党 福岡県委員 会副委員長
6	昭和54年 9月17日	本 人	ふじい じゅんじ 藤 井 純 二	男	福岡県甘木市 大字中寒水21 22番地	福岡県北九州 市八幡東区西 本町4丁目8 番17号	昭和21年 12月7日 (満32才)	日本労働党	日本労働党 福岡県委員 会副委員長
7	昭和54年 9月17日	本 人	あそう たろう 麻 生 太 郎	男	福岡県飯塚市 大字柏の森 214番地	福岡県飯塚市 大字柏の森 214番地	昭和15年 9月20日 (満39才)	自由民主党	麻生セメン ト株式会社 社長
8	昭和54年 9月17日	本 人	ひだか やすし 日 高 康	男	福岡県中間市 大字中間4064 番地	福岡県北九州 市八幡西区折 尾4丁目6番 14号	昭和11年 7月30日 (満43才)	無 所 属	日高交通株 式会社顧問
9	昭和54年 9月17日	本 人	おおはし としお 大 橋 敏 雄	男	福岡県福岡市 西区西新4丁 目 299番地	福岡県北九州 市八幡西区河 桃町7番18号	大正14年 11月3日 (満53才)	公 明 党	公明党福岡 県本部顧問

## 第 3 区

届出 順位	届 出 年 月 日	届出 の別	候		補			者	
			氏 名 ふりがな	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和54年 9月17日	本 人	いなとみ たかと 稲 富 稜 人	男	福岡県八女郡 広川町大字川 上29番地	福岡県浮羽郡 吉井町大字清 瀬 573番地	明治35年 10月19日 (満76才)	民 社 党	民社党役員
2	昭和54年 9月17日	本 人	やまざきへいはちろう 山 崎 平八郎	男	福岡県大川市 大字新田 819 番地	東京都文京区 小日向1丁目 3番6号	明治44年 12月16日 (満67才)	自由民主党	自由民主党 福岡県支部 連合会会長
3	昭和54年 9月17日	本 人	つねお ごんどう 恒夫 (本名権藤恒夫)	男	福岡県粕屋郡 須恵町大字植 木 349番地	福岡県久留米 市高良内町 3802番地の53	昭和 5年 3月23日 (満49才)	公 明 党	公明党役員
4	昭和54年 9月17日	本 人	はし すずむ なら 橋 進 (本名 橋橋 進)	男	東京都渋谷区 恵比寿3丁目 83番地	福岡県久留米 市高良内町23 47番地の128	昭和 9年 6月3日 (満45才)	自由民主党	自由民主党 役員
5	昭和54年 9月17日	本 人	こが まこと 古 賀 誠	男	福岡県山門郡 瀬高町大字上 庄26番地	福岡県大牟田 市柿園町2丁 目3番地の9	昭和15年 8月5日 (満39才)	自由民主党	自由民主党 大牟田市支 部顧問
6	昭和54年 9月17日	本 人	たかはら さくま 高 原 佐久馬	男	福岡県八女郡 矢部村大字北 矢部10490番地	福岡県久留米 市東柳原町14 35番地の12	大正15年 6月8日 (満53才)	無 所 属	東菱薬品株 式会社グル ープ顧問

7	昭和54年 9月17日	本人	まついしひですけ 松石秀介	男	福岡県八女市 大字光 158番地	福岡県大牟田市 大字今山11 84番地の23	昭和3年 9月21日 (満51才)	日本共産党	医師
8	昭和54年 9月17日	本人	はるよし ほそや 治嘉 (本名 細谷治嘉)	男	福岡県大牟田市 大字吉野 680番地の1	福岡県大牟田市 大字吉野 680番地の1	大正元年 9月21日 (満67才)	日本社会党	日本社会党 役員

## 第 4 区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候補者						
			氏名 ふりがな	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業
1	昭和54年 9月17日	本人	きよし かじ 清 (本名 鍛冶清)	男	福岡県北九州市 小倉北区昭 和町99番地	福岡県北九州市 小倉北区霧 ヶ丘3丁目9 番39号	昭和3年 2月18日 (満51才)	公明党	公明党中央 委員
2	昭和54年 9月17日	本人	すけ なかにし せき介 (本名 中西積介)	男	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	大正15年 2月6日 (満53才)	日本社会党	日本社会党 中央委員
3	昭和54年 9月17日	本人	しゅうじ うちしろうじ くら内 修治 (本名 藏内修治)	男	福岡県築上郡 築城町大字上 深野 396番地	福岡県北九州市 小倉北区須 賀町11番34-1 03号	大正7年 3月8日 (満61才)	自由民主党	国民年金協 会理事
4	昭和54年 9月17日	本人	たなか 田中 六助	男	福岡県田川郡 赤池町大字赤 池 268番地	東京都世田谷 区尾山台2丁 目6番8号	大正12年 1月23日 (満56才)	自由民主党	国務大臣内 閣官房長官
5	昭和54年 9月17日	本人	しょうぞう あらかし 昭三	男	福岡県北九州市 小倉北区鍛 冶町2丁目 135番地	福岡県北九州市 小倉北区高 坊1丁目10番 21号	昭和7年 6月28日 (満47才)	無所属	荒木晶三国 政推進会会 長
6	昭和54年 9月17日	本人	ひさし みうら 浦久	男	東京都目黒区 大岡山1丁目 122番地	福岡県北九州市 小倉南区若 園町 325番地 の13	昭和6年 1月1日 (満48才)	日本共産党	弁護士

## 3 当選人に関する調

### 第 1 区

当選 年月日	当選告示 年月日	当選証書 附与 年月日	得票数	氏名	住所	職業	生年月日
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	149,572	檜崎 弥之祐	福岡県福岡市東区大 字名島2438番地の9	社会民主連 合書記長	大正9年 4月11日 (満59才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	125,145	田中 昭二	福岡県福岡市博多区 博多駅南3丁目15番 30-401号	公明党福岡 県本部副本 部長	昭和2年 1月6日 (満52才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	120,975	山崎 拓	福岡県福岡市南区高 宮3丁目22番3号	厚生政務次 官	昭和11年 12月11日 (満42才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	109,765	辻 英雄	福岡県福岡市南区長 住2丁目18番21号	新政治経済 研究会理事 長	大正8年 7月8日 (満60才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	94,594	河野 正	福岡県粕屋郡篠栗町 大字尾仲 139番地	河野病院長	大正3年 1月1日 (満65才)

## 第 2 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 与 年 月 日	得票数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	109,634	三 原 朝 雄	福岡県遠賀郡遠賀町 大字広渡1819番地	国務大臣総 理府総務長 官沖繩開発 庁長官	明治42年 8月20日 (満70才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	93,258	多賀谷 真 稔	福岡県嘉穂郡穂波町 大字枝国 666番地	日本社会党 書記長	大正 9年 1月 5日 (満59才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	73,190	大 橋 敏 雄	福岡県北九州市八幡 西区河桃町 7番18号	公明党福岡 県本部顧問	大正14年 11月 3日 (満53才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	71,041	麻 生 太 郎	福岡県飯塚市大字柏 の森 214番地	麻生セメン ト株式会社 社長	昭和15年 9月20日 (満39才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	66,707	宮 田 早 苗	福岡県北九州市八幡 西区別当町10番11号	民社党中央 執行委員	大正 8年 6月12日 (満60才)

## 第 3 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 与 年 月 日	得票数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	79,780	細 谷 治 嘉	福岡県大牟田市大字 吉野 680番地の 1	日本社会党 役員	大正元年 9月21日 (満67才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	73,922	稲 富 稜 人	福岡県浮羽郡吉井町 大字清瀬 573番地	民社党役員	明治35年 10月19日 (満76才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	68,883	山 崎 平 八 郎	東京都文京区小日向 1丁目 3番 6号	自由民主党 福岡県支部 連合会会長	明治44年 12月16日 (満67才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	66,553	権 藤 恒 夫	福岡県久留米市高良 内町3802番地の53	公明党役員	昭和 5年 3月23日 (満49才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	57,083	橋 橋 進	福岡県久留米市高良 内町2347番地の128	自由民主党 役員	昭和9年 6月 3日 (満45才)

## 第 4 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 与 年 月 日	得票数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	111,799	田 中 六 助	東京都世田谷区尾山 台 2丁目 6番 8号	国務大臣内 閣官房長官	大正12年 1月23日 (満56才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	82,686	中 西 績 介	福岡県田川郡香春町 大字採銅所3283番地	日本社会党 中央委員	大正15年 2月 6日 (満53才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	82,537	鍛 治 清	福岡県北九州市小倉 北区霧ヶ丘 3丁目 9 番39号	公明党中央 委員	昭和 3年 2月18日 (満51才)
昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	昭和54年 10月10日	80,570	三 浦 久	福岡県北九州市小倉 南区若園町 325番地 の13	弁 護 士	昭和 6年 1月 1日 (満48才)



昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

## 辻 英雄

(60才)

清潔で国民の信頼をうける政治  
新しい感覚・心のかよった政治  
住みやすく暮らしやすい故郷づくり

### 政治の姿勢

- (1) 清潔・公平で国民の信頼をうける政治を確立する。純潔無汚職等の再発防止の法律、選挙浄化特別措置法の早急成立をはかる。
- (2) 新しい感覚・心のかよった政治を行う。
- (3) 国民との対話を深めて、国民の願いを政治に反映する。
- (4) 皆さんとともに今日の日本をつくってきた人生経験と行政二十八年、国政二年半の経験をこれからの政治に生かす。

### 政治の理念

- (1) 自由な政治、自由な社会体制をまもる。
- (2) 個人の創意と努力による自由な市場経済を根幹として、社会的公正を確保する。
- (3) 物質より人間の尊重を優先する。

### 中小企業の振興

- (1) 中小企業がその特性を生かして成長発展できるように金融、税制上の優遇措置を強化する。
- (2) 中小企業労働者の労働条件と福祉の向上をはかる。
- (3) 食糧の自給と農林漁業の振興

### 食糧の自給と農林漁業の振興

- (1) 食糧自給力の向上と国民食糧の安定供給確保をはかる。
- (2) 農業基盤の整備、構造改善を推進し後継者のため、地域作目に応ずる耕作面積の確保をはかる。
- (3) 沿岸漁業の整備、栽培漁業の育成新漁場の開発につとめる。

### ライフ・サイクルの実現

- (1) 生涯にわたる生活安定のため、国民的意識の上になつて高い水準の社会保障制度を確立する。
- (2) 各種医療保険、年金保険の格差を是正する。
- (3) 定年延長、中高年令者の雇用促進、老令年金の充実など、老後に不安のない社会をつくる。

### 住みよい故郷づくり

すんだ空、美しい水、豊かな緑を回復するため、道路、上下水道、公園等の整備を計画的に実現する。また質のよい住宅、宅地の供給を増やす。

### 教育の正常化

- (1) 全ての国民が民主主義社会の一員として、その能力に応じて社会に貢献し、民族文化を創造できるように、人格形成のための教育を推進する。
- (2) 地域人口の動態に応じた学校施設の整備をはかり、私立・公立の校種格差を縮小する。

### 地方自治の確立

地方行政を根本的に改正し、住民自治の本旨に基づいた地方自治の充実をはかる。

### 外交と国防

- (1) 平和共有の理念にたち、すべての国との友好親善を深める。
- (2) 国際政治の現実にとらわれず、自らの国は自ら守るという、国民的合意をふまえて自衛力を涵養する。

### 経済の運営とエネルギー対策

- (1) インフレと失業のない、経済安定成長をはかる。
- (2) 財政健全化のため、国債・健保・米の赤字の解消、行政の簡素化等を行う。一般消費税には反対する。
- (3) 石油消費の節約をはかり、石油・石油製品の売り惜しみ買ひだめを抑制する。
- (4) 石炭利用の促進と、原子力発電の安全性の確保及び太陽熱利用等の技術開発により代替エネルギー供給の増大確保をはかる。

### 経歴

福岡市当仁小学校、中学校、福岡市立第一高、昭和十八年東大法学部卒業。  
昭和十八年四内務省に入り、三重県教育課長・食糧課長を勤め、厚生省を経て労働省に転じ、昭和四十二年労働大臣官房長、昭和四十二年福岡県副知事に就任、亀井県政の基礎づくりにあたる。  
昭和五十二年衆議院議員に福岡一区より当選、衆議院労働委員長、沖縄北方領土特別委員会、自由民主党商工部会副会長、労働局長、漁業問題等ワーキンググループの副会長のため助。三木元総理と中近東視察、石油供給維持のためサウジアラビア、アフガニスタン、エジプト、サウジアラビア、大統領と会談。  
日米貿易不均衡是正、エネルギー対策協議のため、米国首脳と会談など、渡欧米十回。  
家族、妻節子（朝倉源太郎木村出身の故郷吾恵二代議士長女）との間に三男、二女

# この一票明日の日本の道しるべ

## 投票日

# 10月7日



福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 衆議院議員総選挙 (福岡県第一区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補  
日本共産党公認

## いざ山博

八〇年代をきりひらく  
国民本位の清潔、革新の政治を

私はこの三年間、疑獄なくし、物価値上げの自民党、それとあれあう「中道」政党的、国民生活破壊の政治を、はがゆい思いで見つめてきました。こんなこそ、わずか三千余票で失った議席をとりもとし、八〇年代に国民本位の新しい日本を實現しなければ、と決意しています。

私は、弁護士として二十八年間、四年間の議員活動でも正義と革新の立場をつらぬいてきました。政治革新の眞の代表として、私、いざ山博を、再び国会に送り出して下さい。

### 石油危機を解決し 物価をおさえ、くらしを守る

私はまず、大企業の石油くらし、便乗値上げにメスを入れ、石油の価格と供給を安定させます。総合エネルギー公社の設立などで、エネルギー危機を解決します。

また、大企業の首切り合理化の規制、貸上げ、中小企業、農漁業の経営安定、年金の引き上げや障害者施策の拡充で国民のくらしを守ります。

### 一般消費税、増税に反対し 国民本位に財政を再建する

私は、二十八兆円という大増税による国民負担の「財政再建」ではなく、大企業への税減免の優遇措置は正(二兆円)、軍用機など不要不急の予算(二兆円)の削減で財政再建をすすめます。

### 「妻の座」を高め、職場の自由を守る

私が国会に初めて提案した、妻の遺産相続税を三分の一から二分の一にふやす「妻の座」法案が突っ走っています。妻の老令年金の新設など、婦人の地位向上と婦人の老後保障を確立します。私はまた、福銀や大丸など大企業の人権侵害や差別待遇をとりあげ、是正させました。職場から労働基準法違反や不当差別をなくします。

### 高校増設、ゆたかな教育を

福岡の受験地獄、少年の非行は全国一のひどさです。私は、公立高校建設と学童保育に国の補助を實現しました。

私は、国の責任で公立高校の増設を促進し、私学助成を大幅にふやして受験地獄をなくします。

四〇人学級、学童保育の充実など、ゆきとどいた教育で非行や自殺からくらしを守ります。

### 水不足、交通地獄のない 住みよい郷土をつくる

昨年の水ききんを再びくりかえしてはなりません。私は、中水道モデル都市指定や筑肥線の増設、東福岡駅の新設など力を尽くしました。

私は、中水道や近郊水源開発による水対策、筑肥線・延浜・博多間、勝田線の存続、地下鉄と宮地嶺線の直通運転を實現します。

また、人口急増地域の上下水道、学校建設などへの国の補助をふやし、環境改善をいそぎます。

### 有事立法に反対、平和・中立の日本を

私は、学生生活の中途で軍隊にとられ、悲惨な戦争を体験しました。有事立法(戦時立法)など、軍国主義復活と戦争への道に反対し、安保条約を廃棄して、非同盟、平和の日本をつくらします。

私の略歴 浮羽町、長崎高商 九大卒、昭和二十六年弁護士開業、福岡第一法律事務所長、カネミ・スモン訴訟、総評弁護団員など勤者、庶民の弁護士として正義と人権を守る。四十七年衆議院議員当選、検察官連絡協議会委員として活躍。開発審議会、檢察官連絡協議会委員として活躍。

### 推せんします

評論家 中野 好夫 異議評論長 蒲池 雅徳  
作曲家 いずみたく 弁護士 岩城 和代  
落語家 林家 正蔵 元九大教授 白井 正



こばやし  
きよき

## 小林よし幸

(32才)

### 基本政治への出発

私のよこが お

昭和22年1月18日 粕屋郡篠栗町生まれ

福岡市立名島小学校卒

福岡市立多々良中学校卒

福岡県立香椎高等学校卒(高17回生)

西南学院大学商学部卒(69期生)

西日本相互銀行に4年間奉職

株マーケティング福岡創立(S48・3)

中井産業有在職

福岡市社会人バスケットボール連盟常任理事

福岡県立香椎高等学校同窓会理事

### 小林よし幸から皆さんへの約束

地元市民の皆さんと「討論し」検討し「実行」する二原則を掲げます。

- (1) 保育園教育から高等教育までの一貫した教育費の負担軽減。
- (2) 高齢化社会の要求に応じた福祉の充実と向上。
- (3) 二つの仕事に政治生命を賭けて働きます。

政治プロ、官僚プロ、大金持ち、組合プロに今からの政治は任せられません。正しい政治を市民の手に、とりもどさなければいけません。呼び起そう フレッシュパワー

### 小林よし幸がめざす 政治の世界とは

1. 国民一人一人が市民として自由な立場から政治に参加し、行動できる日本式の自由と進歩の社会をめざします。
2. 政界、官界、財界の三界で労働組合、革新政党的の権力集中の二つの大きな社会的害悪おのふ不平等をなくし、大衆政治をめざします。
3. エリート支配、官僚支配の政治社会を打ち破り、市民政治の確立をめざします。
4. さまざま水運の個人の能力が差別されることなく社会生活の中で活かされる学校、家庭、社会の多様性を持った生涯教育をめざします。
5. 戦前、戦後の日本を築きあげてきた人々の老後が、豊かで心安らかな日々となる様に、積極的にお金をためるための社会改革をめざします。

(3)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本労働党公認

# 上村和男

(30才)

国民生活が一層困難になり、  
ますます政治の根本的転換が望  
まれている。

倒産と失業は、いま多くの労働者の生活をひやかし、物価上昇の中で国民生活はますます苦しくなっています。輸出に依存した景気回復の追求の結果として農民に対しては農産物輸入拡大の圧力をかけていかついています。大企業の特権を確保するための「調整経済」は、中小・零細企業に対しても「合理化」を押しつけ、労働者を失業の危機に追い込んでいます。又、政府・支配層がこれまで景気回復のための綱としてきた財政テコ入れ政策が、今日では逆に、財政危機の根源になっています。これらの問題は、我が国の進路とも不可分な結びついています。エネキ危機でクローズアップされている第三世界の台頭は、国際経済秩序の改革を求めて、近年ますますその力を増大させています。さき頃かれた東京サミットはこれを改めて証明しました。もはや我が国の前途は、この

すべての覇権主義に反対し、

独立自主・第三世界との連帯で国の進路をきりひらけ

すべての民族的・民主的勢力は連合し、政治の根本的転換を

- 一、一般消費税反対 人民には減税を、大企業には増税を
- 二、コメ、国鉄・健康の赤字は国が負担せよ、財政赤字は大企業への増税で
- 三、インフレ・高物価・公共料金引き上げなど国民生活破壊反対
- 四、首切り・失業・労働強化反対 減反・農産物輸入拡大反対 中小企業切り捨て政策反対
- 五、有事立法、弁論人抜き裁判などすべての政治反動反対 大衆闘争に対する一切の弾圧反対

- 六、アメリカのための軍備増強反対 独立自主で総合的な安全保障を
- 七、かえせ北方領土、出ていけソ連、対ソ軟弱外交反対
- 八、朝鮮の自主的平和統一断固支持 朝鮮の内政に干渉するな。朴「政権」へのテコ入れ反対
- 九、ベトナムはカンボジアから出ていけ。民主カンボジア断固支持 「中立」化の名による内政干渉反対
- 十、対米追随外交の転換 独立自主・反覇権の外交でエネキ危機・資源・南北問題の解決を

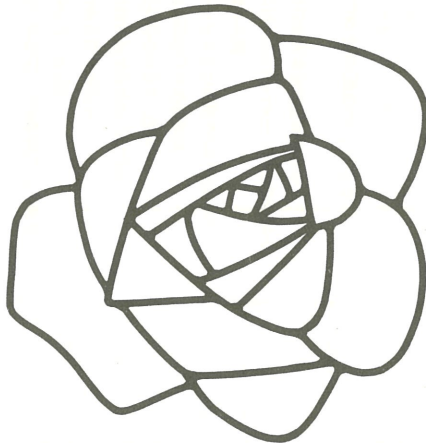
第三世界に対する対応の根本的検討なしには考えられなくなっています。急展開する内外の情勢の中で、政府・支配層がとってきた対米従属 対ソ軟弱、そして第三世界を踏み台にしようとする従来の政策では、危機を克服できず、国の進路を誤らせることは明らかです。

これらすべての事が、自民党の積年の悪政の結果です。我が国はここへ行くのか、いまこの問題が切実に問われています。我が党は、全国二十五名の候補者を立候補団体として、労働者をはじめとする国民大衆の利益を代表し闘います。政治の根本的転換を目指して、民族・民主勢力の拡大の結果を呼びかけます。みなさんの絶大な支援を訴えます。

**総選挙にのぞむ日本労働党の五つの主張**

- 一、大衆闘争で財政危機を克服する策動に反対する
- 二、人民には苦難、大企業には利益を約束する自民党・大平内閣のインフレ・不寛政策に反対する
- 三、民主主義の破壊と政治反動に反対する
- 四、反民族・反人民的な安全保障政策に反対する
- 五、反覇権・独立自主・第三世界と連帯する対外政策を要求する

## 一票の自覚がひらくよい政治



# 投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

(4)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

## かわの正

(65才)

福祉とすじに生きる

数少ない 社会保障の先駆者

わたしの歩み

本籍地 福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲一三九番地  
現住所 福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲一三九番地  
大正三年一月一日生

経歴 昭和六年 福岡中学(現福岡高校)卒業  
昭和十年 九州医学(現久留米大医学部)卒業  
昭和十八年 九州帝大医学専門部助教  
昭和二十年 医学博士 河野病院を設立  
昭和二十六年 福岡県議会議員に当選  
昭和三十年 衆議院議員当選五期  
現在 日本社会党福岡県本部委員長 河野病院々長

許せない 汚職政治

福祉後退、増税を阻止し、安定した生活の実現を

わたしの約束

私は、地元や民主団体の方々、働く仲間の皆さんの幅広いご支持で国会に議席を得て以来、今日まで、誰もが安心して暮らせる政治を働き続けてまいりました。

私は、今回の選挙で勝利し、腐敗きつた金権政治の掃蕩と一般消費税の導入、三百万円以下の所得労働者への増税を阻止、八十年代の明るい政治の展望を創っていくため全力をあげて頑張る決意です。皆さんの一層のご支援をお願い致します。

政治家としての実績

衆議院文教委員会理事・社会党労働委員会理事・社会党社会労働部長として長年活躍。また、内閣社会保障制度審議委員四期。日本の社会保障の基本政策の方針づくりに参画。日本の遅れた社会福祉・年金・医療の充実推進のため努力し、日本で数少ない社会保険の権威である。一回有財産の行方「社会保険労務士の解説」(麻栗の恐怖)など多面にわたる著書も多い。

一、政治腐敗 汚職構造を掃蕩し、清潔な政治の確立をはかります。  
一、格差・不平等をなくし、一般消費税導入、不公正税制をやめさせ、農漁民・中小企業対策を強化するなど国民生活を守ります。  
一、部落の完全開放をめざし、三大闘争勝利のためたたかいます。

一、年金・医療等福祉の後退を許さず、新たな教育の創造と文化・スポーツの振興をはかります。  
一、積立中立の外交でエネルギー資源を確保し、同時にエネルギー転換政策を推進します。



社会民主連合公認

## なら崎 弥之助

59才

私の決意

この道は遠けれど  
この道をえらびたるなれば

これは私の座右銘です  
失われた政治の  
壮大な口マンを求め  
自らの  
政治的良心と信念に従い  
そうと分りつつも  
あえて 苦難の道をえらびました  
一人からの再出発です  
孤独の闘いです  
日本の政治の  
よりよい変革のため  
あなたの力を  
この私に与えて下さい

なら崎 弥之助

なら崎 弥之助

略歴

大正九年四月十日 福岡市生まれ。  
奈良県小里町小里  
修験僧、旧制福岡第一中学校  
衆議院議員選挙区福岡第十区  
社会民主連合書記長

昭和五十一年九月十七日、私は盟友の田 美夫 衆議院議員とともに日本社会党に結別し、五十三年二月二十六日田 美夫を代表とする新しい革新の党 社会民主連合を結成しました。  
思えば結成以来二十二年、日本社会党は私にとって青年と人生のすべてでありました。しかし今日の日本社会党は、イデオロギー過剰で教化化、硬直化し、新しく変化する時代に適切に対応する能力を失い、立憲の精神とはおよそ無貫の党に変質してしまいました。私は結党以来の党員としての責任から、金銭生命を賭けて党改革に取り組まましたが、もはや私たちの意見が通る党ではなくなっていました。  
結党時の党とは實質してしまつた党に、それと知りながら目をつむりを閉ざしてしまつたということはお自分の選挙には都合がいいかもしれませんが、それでは余りにも自らの政治的良心を欺くことになり、むしろそのことが大衆を欺くことになりと判断し、党に最後の諒言をする意味をこめて、抜身の情を残しつつ敢えて離党という行動をふみとつたのであります。人は時としてそうと知りつつも自ら苦難の道をえらばねばならないことがあるものです。  
この福岡ではただ一人からの再出発になりました。孤独の苦しい闘いです。

昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第一区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
公明党公認

## 田中昭二

(52才)

新しい政治の時代を

私の公約

政治は

けっして自民党だけのものではありません。

政治の

主人公は国民であります。

ひとりの人間を大切にする「人間優先」の政治こそ、

政治の原点であり、

これが中道政治です。

それは

どこまでも清潔で

社会の不公平と闘い

自由と平和を守る

政治です。

私は、ながい間、国民をながいがしろにしてきた政治の流れをかえ、

80年代のねがいである、

責任と信頼ある「新しい革新」

の政治を確立します。

みなさまの暖かいご支援を心からお願い申し上げます。

一、清潔な政治・民主政治の確立  
腐敗政治を追放し、国民の主権を生かす政治を確立します。

二、経済と経営の安定  
石油危機から日本経済を守り、経営の安定をはかります。

三、財政の再建  
一般消費税の導入・所得増徴税を阻止し、行政改革、財政の洗い直し、税の公平化と経済成長で財政の再建をはかります。

四、生活の安定  
物価、雇用、医療、教育、住宅の不安をなくし福祉社会を実現します。

五、農林漁業の振興  
地域食糧基地を確立し、総合農政を推進し、食糧自給率の向上を促進します。

六、日本の平和保障  
平和憲法を守る等距離完全中立政策で、形勢的

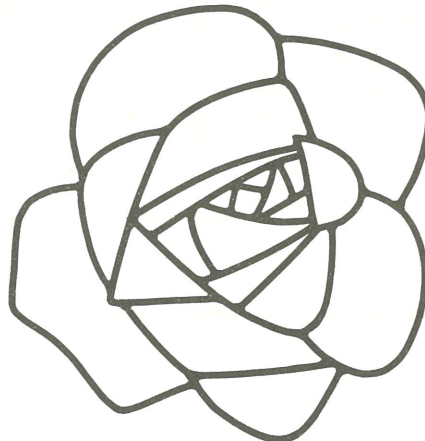
安全を確と日本の恒久平和を確立します。

七、郷土福岡の発展  
広域行政を推進し、水資源の開発、道路交通網の整備、伝統産業や文化財の保護育成に努めます。

### 略歴

福岡市居住 大蔵事務官を経て75年11月衆議院四回当選 元大蔵委員・運輸管理理事  
前通信委員  
常任副委員長・常任委員  
会派部長・同大宰府通信局長  
護持別委員長

## 一票の自覚がひらくよい政治



# 投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

(8)



衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 10月7日

投票用紙は、衆議院議員総選挙…白色の紙に黒刷り、  
最高裁判所裁判官国民審査…白色の紙に赤刷りです。

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や、病気・出産などのため歩けない人は前もって不在者投票をすることができます。  
(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

一票の自覚が  
ひらくよい政治

福岡県選挙管理委員会

衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者 民主党公認 宮田 早苗

八つの主張

(60才)

一、物価を安定させ、経済の安定した発展のための政策を展開します。

一、雇用の安定と増進、働く人の福祉の充実と労働条件の向上、十才年実習に向け頑張ります。

一、四つの不安(金銭、病災、住宅、教育)の解消に努力します。

一、行政改革、不正統制の是正を一般消費税の導入には反対します。

一、省エネ、代替エネルギー開発等、国の将来を左右するエネルギー問題を引き続き取り組めます。

一、地方の時代、にふさわしい福岡県、北九州市の地域づくりのために働きます。

一、旧選出地域の整備即ち真の所得、関連諸法の延長、産業復興に全力を注ぎます。

一、地産地消の基盤である中小企業振興の拡充強化をまかします。

有権者の皆さん、目前に迫った八〇年代の日本は、内外ともにこれまでにない多くの不安定で困難な政治課題を抱えています。国際的には、エネルギー資源や貿易摩擦問題に象徴されます。国内に因る関係は複雑化の様相を醸成してきています。国内的には、低成長に移行した中で産業政策、高令化社会を迎える中で雇用の確保、福祉政策をどう展開していくか数多くの重要な政治課題があります。政治の役割がますます大きくなります。私の政治信条は、類に汗して、真面目に働いている人々の努力と良識が生かされる社会を如何にして実現するか、であります。その立場からこの難局をどう乗り切るのかの道筋を世に示し、実行するのが私に課せられた使命だと考えます。

私はこの愛する郷土、福岡二区多くの働く人々とともに長く労働運動に携わり、政治活動に従事してまいりました。昭和四十年代はじめ、混乱した福岡県政、北九州市政を健全に、安定し、活力あるものにするため、労働組合の立場から現在の体制を築き、今日までその発展のために手をたづなえ参りました。

金権腐敗、派閥横断の政党内、硬直的で現実を無視するような階級政党内、この難局を乗り切れません。長く続いた一党支配は終りを迎えようとしています。働く人の努力と良識を政治に反映している民社党は是非、是非とす、いわゆる責任政党として政策運営の主導権を握らなければならぬと確信しています。

民社党、健全な労働組合としての立場から、亀井県政、各市政の実現に努力し、地域社会の安定と発展に尽力したこの私に、国政の場で引き続きこれからの役割を担っていただきたいと思っております。

私の略歴

大正八年六月十一日 山口県津和野三河町で生まれる。昭和七年三月 山口県三河町高小卒業。昭和十年 八幡製鉄所入社。昭和十二年 労働組合運動に専念するため福岡労働組合執行委員となる。二十一年 労働組合運動に専念するため福岡労働組合執行委員となる。三十二年 組長選挙で五期に新日鐵労働組合委員長、九州労働組合代表理事、福岡県労働組合委員長、この間に三十年から四十年まで福岡労働組合執行委員を兼任。四十七年 福岡労働組合執行委員を兼任。五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。



衆議院議員候補者 自由民主党公認 みはら あきひろ

激動の80年代と私の使命

(70才)

一、物価の安定と景気の浮揚

一、雇用の安定と増進

一、四つの不安(金銭、病災、住宅、教育)の解消に努力します。

一、行政改革、不正統制の是正を一般消費税の導入には反対します。

一、省エネ、代替エネルギー開発等、国の将来を左右するエネルギー問題を引き続き取り組めます。

一、地方の時代、にふさわしい福岡県、北九州市の地域づくりのために働きます。

一、旧選出地域の整備即ち真の所得、関連諸法の延長、産業復興に全力を注ぎます。

一、地産地消の基盤である中小企業振興の拡充強化をまかします。

80年代は、内外ともに激動の時代といわれています。国内には、財政の硬直化、不況脱出の頑打ちと第二次オイルショック時代の兆し、外野的には日本経済開

物価を安定してインフレを抑制し、景気を浮揚して雇用の増大を図ります。

みずから助け合える精神、相互扶助、公共の福祉を基調に、公正で活力あふる高福祉社会を実現します。

安易な一般消費税の導入には反対し、増税以前の問題として行政機構、支出面の見直しを積極的に進めます。

地方自治の時代に即応した地方財政の充実と、自治の振興を確立します。

工場配置の再検討と公害防止、緑の環境づくりと上下水道の整備を進めます。

「農業政策の振興」 需給の動向と地域の実態に即した農業の再編成や水産業の健全増産を図ります。

「公正な競争」 公正で活力あふる高福祉社会を実現します。

「地方自治の確立」 地方自治の時代に即応した地方財政の充実と、自治の振興を確立します。

「公害防止」 工場配置の再検討と公害防止、緑の環境づくりと上下水道の整備を進めます。

「農業政策の振興」 需給の動向と地域の実態に即した農業の再編成や水産業の健全増産を図ります。

「エネルギー政策の推進」 石油代替エネルギーの開発政策をすすめ、省エネルギーの徹底によって不安を解消し、安定供給の道を確立します。

「婦人の地位の向上」 働く人々のための新設措置の種和と、社会的地位の向上に努めます。

「公正な競争」 公正で活力あふる高福祉社会を実現します。

「地方自治の確立」 地方自治の時代に即応した地方財政の充実と、自治の振興を確立します。

「公害防止」 工場配置の再検討と公害防止、緑の環境づくりと上下水道の整備を進めます。

「信条」 衆議院議員五回、県議五回、通算三十年におよぶ私の政治歴を貫く政治信条は「真実・誠心・心算」であります。文部大臣、防衛庁長官、国務大臣、総理府総務長官、沖繩開発庁長官の三たびに亘る閣僚経験の中で、特にを律し、決断するに慎重、実行するに果敢をその地行としてまいりました。

「姿勢」 国民の政治に対する信頼を取り戻し、清潔で公正な政治を推し進めるため、党の改革と政治倫理の確立による政、財、官界の浄化を図り、党から党外への進歩の現行行政監察の強化で公務員の編制修正を推進します。

「郷土を離れて三原の存在なし」の信念を基調として閣僚経験を生かし、二区の発展策を中央政界に強力に反映、実現します。

福岡県立三原高等学校出身、明治四十二年八月二十日生。東京中学校卒業、明治大学法学部、漢学大同学院卒業。昭和二十五年より福岡県立三原高等学校校長、校長兼三原町長。昭和二十九年 自由民主党福岡支部長。昭和三十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和三十三年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和三十八年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和四十二年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和四十四年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和四十六年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和四十八年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和五十一年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。昭和五十三年 衆議院議員選挙で二区から立候補して当選。

「公正な競争」 公正で活力あふる高福祉社会を実現します。

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 **10月7日**

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

まつもと しちろう  
**松本七郎**

(67才)

### 立候補の決意

総理や大臣という最高の地位を利用して、国費で「もの」を買ひ、そのリベントをふところにし、選挙費用につかうなど、自民党政治は、まったく地に落ち、くされきつています。

この自民党政治はかえなくてはなりません。私は、政界を浄化し、日本の民主政治の確立をはかるため、私の政治生命をかける決意であります。

### 私のやくそく

- 一、大資本の価格つりあげを規制し、公共料金値上げをやめさせて、物価の安定をはかり、庶民のくらしをまもりま
- 二、受験地獄をなくし、選別と差別の教育制度をあらためさせ、子どもたちがあかるく、のびのびとそたつ教育にし、父兄の負担をかるくするようにします。
- 三、老後にやすらぎをあたえる年金制度、医療制度を充実させ、身体障害者のくらしと生命をまもる諸制度を確立します。
- 四、婦人の地位と権利をたかめるため法律と制度を整備し、社会的差別をなくすようにします。
- 五、庶民に負担をかける一般消費税などの増税をやめさせ、大資本を優遇した不公平な税制をあらため、国家財政を再建します。
- 六、同和对策基本法を制定させることもに、三大闘争を支持し、部落の完全解放にむかひます。
- 七、地場産業、中小零細業の保護と育成に努力し、経営の安定をはかる諸制度を充実させます。
- 八、産炭地振興諸法と同和对策特別措置法の強化延長を図り、産炭地浮揚の諸施策と助成をつよめます。
- 九、働らくものの権利をまもり、全国一律最低賃金制度、労働時間短縮、解雇規制をおこない、雇用をふやします。
- 十、日米安保条約をやめさせ、世界の国々と、わけへだてのない外交を通して、世界の平和を確立します。

### 松本七郎の略歴

- 1 戸畑生れ、慶大卒。同大講師。黒崎窯業勤務。
- 2 一九四六年、衆議院選挙に立候補、当選。以来十一期。
- 3 日本社会党中央本部国際局長など歴任。
- 4 一九七六年党両院議員総会会長、衆議院通信常任委員長、現在党外務部長。

## この一票明日の日本の道しるべ

# 投票日

# 10月7日



福岡県選挙管理委員会

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



公明党公認

## 大橋敏雄

(53才)

### 人間を大切に政治

それが私の願いです

私は、四期十二年の間、みなさまのあたたかいご声援をうけ、活力ある福祉社会づくりのため、全力で働かせていただきました。厚くお礼を申し上げます。

さていよいよ八十年代を目前にし、エネルギー危機・物価高そして航空機騒音に象徴される人間を忘れた政治に、いま国民の怒りがうずまいていきます。

いつの時代でも強いものが栄え、弱いものは日

### 一人一人が主役の福祉社会を

お母さんと子供たちのために  
母子保健法を改正し、出産手当を十五万円に引きあげます。

老後の生活と健康を守るために  
生活できる年金を確保するために、国民基本年金法を制定し、各種医療保険の統合、整備をはかります。

### くらしと仕事を守るために

一般消費税導入、所得増税を阻止し、不公平税制の是正をめざします。

石油値上げによる諸物価へのはねかえりをふせぎ、物価を安定させます。

雇用拡大に全力をつくします。

公害を防止し、北九州・筑豊の鉱害復旧を促進します。

### 大橋さんをぜひ

### 国会に送って下さい

- 五十嵐正治
  - 中西 實
  - 横山 修
  - 山本 一
  - 川手 一高
  - 石橋 吉蔵
- 全国公明党総連盟会長  
全国社会保険労務士会連合会会長  
全国大衆労働組合委員長  
福岡県連立整備推進委員長  
福岡県労働組合連合会会長  
福岡県歯科理工士政治連盟会長  
福岡県美容環境衛生同業組合理事長

### 私の決意

除で生きなければならぬのでした。そんな社会はもうごめんです。私はこれからの時代は変革の時代であり、私連一人一人がスポットライトをあげる主役でなければならぬと思います。

それにふさわしい清潔、公平、自由の政治を実現するために、私は発言します。体を張って挑戦します。

何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

### 一人一人が主役の福祉社会を

エネルギー確保のために  
石炭の見直しや、天然ガス・太陽エネルギー地熱の利用などを促進します。

原子力発電については、自主・民主・公開の三原則のつとめて、安全性など関係住民優先の施策をすすめます。

### 実現できたこと

- 一、老令福祉年金月二万円の支給を提唱
- 一、産業医科大学八幡西区誘致に尽力
- 一、旧貝原炭の鉱害復旧対策を推進
- 一、特定不況業種離職者法制定を促進
- 一、飯塚市のせき垣センター開設に尽力

### 略 歴

大正十四年十一月三日、七人兄妹の次男として出生

昭和十八年、おからの大戦で海軍予科練に入隊

終戦後は、青果物卸商・銀行員等を経て、三十八年県議

四十二年衆議院初当選以来四期。昨年、末から科技特委員長。



日本社会党公認

## たがや真稔

59才

### 私の決意

一、社会党は、一歩も退けないところまできています。ここでもし後退するならば、築き上げてきた平和と民主主義のとりでが壊され、汚職と反動の政治が進み、福祉後退と増税が実施されることとなります。また連合の時代といつても、その主軸となる社会党が弱ければ、それは鳥合の衆にすぎません。連合のカナメの社会党に、ぜひ力を貸してください。

二、私自身、きわめてきびしい選挙情勢にありますが、党書記として、政治生命を賭してたたかっています。とくに八〇年代の課題は、エネルギー、財政、雇用、中小企業、社会保障、平和外交など、いずれも私がかかっている問題であり、これまでの経験をぜひ政治の場で実らせたいと思います。

### 私の公約

一、閉山後の深い傷痕をいやすため、私は議員生活の大半をかけてきましたが、いまだに充分といえません。皆さんと力をあわせて制定した石炭六法や同対策特別措置法が、三年以内に失効するため、これらの強化延長をやらなければならない。また、北九州の工場設備の更新、大隈貿易の拠点としての北九州の整備に積極的にとりかかろうと思います。

金権・汚職撲滅の一端  
大企業への監視権を強め、金権・汚職を生む構造を断ちます。国会議員の資産公開の制度をつくり、国会の調査権を強め、国民行政監察委員会を設けます。選挙公営を徹底させ、悪意違反者は立候補を認めないままです。

不公平税制の是正による財政再建  
一般消費税と中低所得者への増税をやめさせ、大企業や資産家を優遇する不公平税制を改め、約

### 雇用の安定と内需の拡大

五兆五千億円の新鮮源を確保します。防衛費の削減、補助金のみなおしと整理で、税金のムダづかいをなくします。

解雇規制、定年延長、六十歳での雇用と年金の接続、労働時間の短縮、最賃制の確立、パートの法的地位確保などで雇用を安定させます。国鉄ローカル線の確保と改善、上下水道の整備、学校、幼稚園、保育所など諸施設の拡充、病院、保健所の完備、公園緑地の確保など、明るく住みよい地域づくりに計画的な投資をさせます。

### 健康でゆとりのある教育の創造

学歴偏重をやめ、自然とのふれあいを重視、高校を全入にし、大学の社会人への開放、有給教育休暇による社会人の就学保障などを進めます。教育費の大幅公費負担をほかり、教育委員公選制など教育行政の民主化をめざします。

エネルギーと食糧の確保  
平和中立外交により海外エネルギー資源を確保し、国内炭の生産と海外炭の輸入を調整します。省エネルギー政策を進め、太陽熱、波力、石炭液化・ガス化など代替エネルギーを本格的に開発します。食糧自給率向上十カ年計画をつくり、農業基盤を再生します。

積極的な平和と創出  
平和憲法を守り、有事立法を阻止し、軍事大国にむかわせないようにします。日米安保条約を破棄し、平和共存をはかり、アジア諸国とあそびをよるよう発展途上国の国民と連携し、国づくりを積極的に協力します。

私のあゆみ  
早稲田大学法学部卒業後、日鉄二瀬に勤務、炭労の結成に参加し、法対部長となる。昭和二年福岡県議、同七年衆議院議員に当選。衆議院石炭特別委員長、党政審議委員会、党部務解放運動推進委員長などを歴任し、昭和五年党書記に就任する。

(3) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
保守系無所属

# 日高康

(43才)

私は実行します

政治の浄化

「金もうけのための政治」への訣別  
政治に対する信頼の回復

税制改革

一般消費税の新設に断固反対  
不公平税制の是正

行政改革

「国鉄・米・健保」の抜本的改革  
金のかからない選挙制度の確立  
被助成特殊法人の洗いなまし  
天下り人事の撤廃

教育改革の推進

甘やかし教育から厳しさの教育へ  
健康で情操豊かな人間を育てる教育を  
金のかからない教育制度の確立

郷土北九州・筑豊発展のために

国家予算導入による北九州・筑豊の再興  
中小企業への積極的振興策の実施  
地元の意志を国政に反映する

若さと実行の

わたくし「日高」に清き一票を

**経歴**  
中開市に生まれる  
福岡県立中開中学校卒  
福岡県立東筑高等学校卒  
在学中夏の甲子園大会出場  
明治大学商学部卒  
日高交通株式会社代表取締役就任  
北九州青年経営者会議会長  
福岡県議会議員二期連続当選  
自由民主党福岡県連総務副委員長  
自由民主党福岡県連政務副委員長  
自由民主党福岡県議会議長  
自由民主党福岡県連八幡西支部長  
自由民主党福岡県連副幹事長

昭和十一年  
昭和二十七年  
昭和二十八年  
昭和三十一年  
昭和三十三年  
昭和三十四年  
昭和三十五年  
昭和三十七年  
昭和三十八年  
昭和三十九年  
昭和四十年  
昭和四十一年  
昭和四十二年  
昭和四十三年  
昭和四十四年  
昭和四十五年  
昭和四十六年  
昭和四十七年  
昭和四十八年  
昭和四十九年  
昭和五十年  
昭和五十一年  
昭和五十二年

## この一票明日の日本の道しるべ

# 投票日

# 10月7日



福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 10月7日  
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補  
日本共産党公認

## 小沢和秋

(48歳)

歩んできた道

昭和二十五年、東大(法学部)に入学、満二十歳の誕生日に日本共産党に入党しました。大学時代、二年先輩に不破哲三さん(現共産党書記局長)同期に山田洋次さん(映画「男はつらいよ」シリーズ「幸福の黄色いハンカチ」の監督)などすぐれた友人にめぐまれました。

昭和三十年春、東大卒業と同時に八幡製鉄に入社。私は、労働運動に身を投じることを決意し、働く者の権利とくらしを守る道をえらびました。昭和三十三年、八幡製鉄労働執行委員に当選、この年から五期連続執行委員として活動。

昭和三十八年、県会議員に初当選(三十一歳)。当時、筑豊では炭鉱閉山の嵐が吹き荒れていました。閉山労働者の首切り反対、失業者の仕事と生活を要求してたたかいました。

その後三期十二年間、党県議団の幹事長として、はたらく者の労働条件改善、職業病対策、中小企業、下請工場の経営を守る活動、鉱害復旧・炭住改良の促進、河川改修事業、また、非行、自殺から子どもを守り、ゆきとどいた教育の実現など、県民のいのちとくらしを守る活動に献身してまいりました。

私をぜひ国政の場へ

自民党は、大企業本位の経済政策をつくりだした財政「赤字」のツケを、一般消費税増徴入や所得税の大幅引き上げで盛りあげようとしています。いま、地元の自民党も、選挙に不利とみて増税問題には口をつぐみ、もっぱら「増税かくし」で国民の支持をかすめようというあつかましい態度です。

大増税や物価の値上げ、福祉の切り下げ、石油不安、労働者の大へらし、中小企業や商店、農家を圧迫する自民党の政治、これをかげにひなたに助けてきた公明、民社などの「中道」新党などに、私は、きっぱりとした審判を下すときだと思います。自民党の悪政をやめさせるためには、革新連合がぜひとも必要です。それに背をむけている社会党の姿勢は問題です。

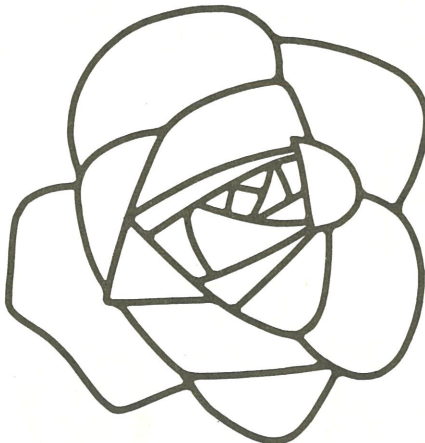
どうかみなさん、私、小沢和秋をぜひ働く者の真の代表として国会に送りだしてください。地元のおくらしを国政に生かすため、存分にはたらかせてください。

みなさんと力をあわせて

私の10の目標

- 1、不況をたてなおし、中小企業や商店も希望のもてる町にします。
- 2、公共料金・物価の上げをおさえます。一般消費税、所得税など、国民犠牲の大増税はやめさせます。
- 3、不当な人へらし、下請企業圧迫を規制して経営と職場を守ります。
- 4、金権・腐敗の根を断ち、ガラス張りの清潔政治をすすめます。
- 5、生活環境をととのえて、つりあいのとれた町の発展をはかります。自然をせばめる乱開発や農業つぶしをやめさせます。
- 6、婦人の社会的地位の向上をはかります。母性保護、雇用の男女平等、妻の遺産相続引上げを保障させます。
- 7、医療、年金・恩給制度を充実させ、福祉の向上をはかります。
- 8、産炭地振興事業の継続と拡充、新しい筑豊の発展につとめます。
- 9、非行、自殺から子どもを守り、学力のおくれをなくして心豊かな子どもを育てます。
- 10、戦争準備の法律づくりや軍備の増強は許せません。安保条約を廃棄して平和・中立の日本をめざす。

## 一票の自覚がひらくよい政治



# 投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会

(5)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和54年10月7日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

## 投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

# 麻生太郎

(39才)

### 〈私の決意〉

戦後の瓦礫の中から、世界に冠たる経済大国に発展した我が国も、資源不足の時代を迎え、今、その根底をゆさぶられようとしています。郷土・北九州、筑豊を受する私は、地域の皆様と手を取り合って、モノも心も豊かな、あすの日本の創造に向けて邁進することを誓います。

### 〈私の公約〉

外交政策 世界の平和と繁栄に貢献し、自衛力の充実と日米安保体制で、日本の安全と平和を守ります。新時代に対応した産業政策を展開し、世界経済の発展に尽くします。

### 教育政策

自立と奉仕の心を持った、心豊かな人間を形成する教育制度を確立します。

### 福祉政策

健全かつ適正な福祉行政を確立し、日本の良さを生かす家庭を中心とした日本型福祉社会を建設します。高齢化社会に対応するため、生きがいと創造に満ちた社会事業を行います。

### 経済政策

インフレと失業のない安定成長経済で、国民の暮らしを豊かにします。完全雇用のための産業基盤を整備します。特に中小企業に対する諸施策を強化します。安定した農林水産業対策を推進し、総合食糧自給力の向上を図ります。

### 都市政策

住みたくなる町、私たちの町(北九州・筑豊)を、緑と太陽の文化都市として建設します。質の高い住宅をふやすため、公庫融資の改善や都市の再開発、宅地対策を進めます。

### 〈私の生い立ち〉

昭和15年9月 福岡県飯塚市に生まれる  
昭和34年9月 学習院高等科卒業  
昭和38年3月 学習院大学政治学部卒業  
昭和40年7月 米国立スタンフォード大学大学院留学  
昭和41年7月 英国ロンドン大学大学院留学  
昭和41年8月 麻生産業株式会社入社  
昭和48年5月 メキシコ国際射撃大会出場(優勝)  
昭和50年1月 麻生セメント株式会社社長就任  
昭和51年1月 飯塚青年会議所副理事長就任  
昭和53年1月 モントリオール・オリンピック出場  
社団法人日本青年会議所全頭就任

21世紀の主人公は  
あなたです  
人間中心の文化社会を  
創造します  
住みよい環境づくり  
心豊かな人づくり  
活力ある経済社会づくり

私はすべてに  
全力投球します

## この一票明日の日本の道しるべ

# 投票日

# 10月7日



福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本労働党公認

## 藤井純二

(32才)

### 政治の根本的転換をはかる

私は、八〇年代にふさわしい独立自主の新しい日本の政治をめざし、現行政治の根本的転換をはかりたい。急進する内外情勢の中で、政府自民党がつてきた対米従属、対ソ軟弱、発展途上国を踏み台にしたこれまでの外交政策と、大企業本位で勤労大衆に犠牲をしいるインフレ、高物価の内政はわが国社会に大変な危機をもたらしている。

自民党の権年の党政を終らせ、政治を変えようとの声は全国にあります。しかし、グラマン汚職国会証人喚問のように、既成の野党は金権政治家の首根をつ一つつかまえられ、あまりにも無力です。したがって、わが国の直面する危機の打開と政治の転換のためには、国民一人一人の手に政治を取りかえし、すべての民族的、民主的勢力の大連合による巨大な政治革新の力を集めあける以外にはありません。幾千万国民の力強い大衆運動こそその発展のチャンスです。

### 労働党五つの主張

〔一〕 一般消費税、所得税の増税、公共料金の値上げに反対。

わが国の国家財政は、国債赤字が六〇兆円、国民一人あたり五〇万円の借金となり、大変なインフレ圧力となっている。この責任は自民党にあり、大企業本位の無責任な財政運営の結果です。一般消費税、所得税の増税は低所得層にきつた負担増となり、反対。史上空前の利益をあげている大企業に増税をはかります。

〔二〕 大平内閣の大企業優先のインフレ、不況対策を許さず。

新日鉄などの大企業はこのインフレ不況の下でさえ空前の利益をあげています。大資本の利益だけを厚く守るのが自民党の政策。首切り人への合理的化と失業、不況業種の切り捨て倒産、減反と農業つぶし、旧産地振興、福祉の切り下げに反対します。

### 民主主義を守り、政治の逆流を阻止

労働争議をはじめ大衆運動に閉じての司法の反動化、有罪判決、先例法制化などの政治の逆行は目にするものがあります。他方、企業と政治家との金権ゆわきはたちまちません。国民の政治的権利の保障と広範な民主主義の拡大をはかります。

### 売国的「安全保障」政策を打破

アメリカの対ソ戦略に引き金をにぎられている自衛隊の増強、核武装に反対します。国の防衛力は軍事力のみではなく総合的安全保障政策が必要であり、とりわけ、覇権主義に反対する友好的国際関係の樹立が必要です。

### 反覇権、独立自主、第三世界と連帯する外交の実現へ。

わが国は資源の大半を発展途上国にたよっており、アメリカに追随しておこぼれにあずかるという姿勢を根本的に改める第三世界との友好連帯がカギとなります。とりわけ、北方領土を不法に占拠しているソ連の覇権主義に反対し、日本の真の独立自主の対外政策こそ八〇年代の国の平和安定の連絡です。すべての覇権主義に反対し独立自主、第三世界との連帯で国の進路をきりひらけ。

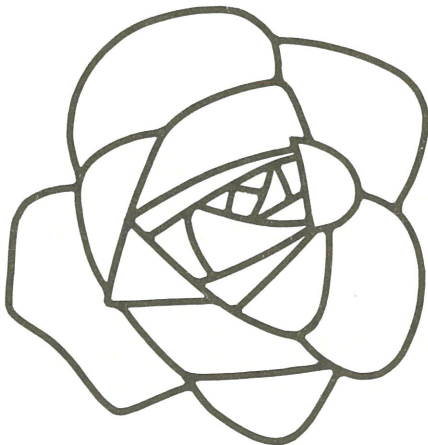
1、赤字財政は大企業への増税で、2、減反農畜産物輸入拡大反対、産地地の増産と雇用の安定、部害の解放、3、かえせ北方領土、4、朝鮮の自主的平和統一支持、日中友好、5、対米追随外交の転換、独立自主、反覇権の外交で、エネルギー資源南北問題の解決を。

皆様とともに奮闘する藤井へ御支持をお願いします。

### 略

一九四六年、八幡で新日鉄労働者の次男として生まれる。反戦運動をへて日中友好事業に献身。現在、福岡県委員副委員長。

## 一票の自覚がひらくよい政治



# 投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会

衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 10月7日

投票用紙は、衆議院議員総選挙…白色の紙に黒刷り、最高裁判所裁判官国民審査…白色の紙に赤刷りです。

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や、病気・出産などのため歩けない人は前もって不在者投票をすることができます。

(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

一票の自覚が  
ひらくよい政治

福岡県選挙管理委員会

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

## やまざき へいはちろう

(67才)

### 私の決意

私はこれまで、郷里の皆さまの温かいご支援のもとに、みなさまの声を国政に生かすパイプ役として力を捧げてきました。今回の総選挙に当りまして自由民主党は、物価や財政、エネルギー対策、これに長期展望の上になつた農業政策など、国民生活に密接にかかわりのある重要政策を推し進めていく中で、私は、皆さまの心を心として、誠心誠意、明るい政治の実現と、豊かな国づくり、郷土づくりに、全精力をつくす決意であります。

### 政治目標

私は筑後で生れ、筑後で育ちました。農林省にいったのも、農村育ちだったからです。政治家となつても、郷里筑後に人一倍の愛着をもつています。

緑と自然の美と人の和と、豊富な産業資源をもつているこの筑後地域を、最も住みよい、豊かな地域に繁栄させることが私の政治目標です。

中央政界の主な推せん者  
前内閣総理大臣 福田 赴夫  
自民党総裁 大平 正芳  
前内閣官房長官 安部 晋太郎  
前農林大臣 中川 一郎

### 豊かな郷土づくり

一、国民経済の充実をはかります。物価を安定させ、景気に活力をつけ、家庭経済基盤の健全な充実をはかります。

一、新しい農業政策を確立して、農山漁村の生活を豊かにします。米をはじめ、筑後地域の豊富な生産資源の特質を十分に生かして、生産から販売消費までの仕組みを改善して、働く人の所得水準をたかめてゆきます。

一、愛と心の教育を。教育の仕組や、教育環境を改めて、学校でも家庭でも、明るい賢い、ゆとりある子供の教育に力をいれます。

一、暮しを便利に、健康と文化を。生活環境を整えて、スポーツレクリエーション施設、文化施設をふやして、生活をしのしく、便利にし、文化の水準を向上させます。

一、高齢化社会を楽しくします。年金、医療、憩いの場、などをふやして、これからの高齢化社会を明るくします。

一、産業基盤をつくらせてゆきます。めぐまれた水と緑と、農地や、山や道路などを含めて、これを高度に利用し、改良し、培って、新時代に適応してゆく産業開発の基盤をつくらせてゆきます。

### 略歴

大川市に生れ、九州農学部卒、衆議院議員当選三回、農林省九州農政局長、文部農林尚政務次官歴任、衆議院 農林水産委員会 理事、自民党総合農政部会副会長で農業政策立案に従事、自民党福岡県支部連合会長



自由民主党公認  
衆議院議員候補

## なら 橋 進

(45才)

### 立候補のご挨拶

私は昭和四十八年の補欠選挙で、はじめて国会議員に当選させていただいてから早くも満六年を迎えようとしています。

この間、大過なく国会議員としての職責を果たし、参りましたことは、選挙区、郷土の皆さまの温かいご支援ご指導の賜のと深く感謝し謹んでお礼を申し上げます。

私は過去六年の政治的経験と知識を生かし、自信と勇気をもってこれからの政治に取り組む、皆さまのご期待ご恩に報いる決意で二度目の立候補をいたします。なにとぞ一層のご支援ご協力を心からお願いたします。

### 私の政見(公約)

一、国民に信頼される公正で清潔な政治を実現し、政局を安定して国民の理解と合意の上立ち、当面の重大な政治課題である

激動する世界情勢に対応する平和外交の展開  
世界的なエネルギー不安に対応する新エネルギー政策の推進  
物価の安定とインフレの抑制  
国家財政の健全化  
地方自治権の拡大と財源の充実

などを軸とする内外政策の転換をはかり八十年代への国の進路を拓くために全力をつくします。

二、郷土の発展をめざし道路交通網(町村道を含む)の整備、下水道の完備など住環境の改善、教育や福祉施設の拡充、地域の特性に応じた漁業生産基盤の整備、治水治山、港湾の整備、懸念の新幹線の早期着工への公共事業を促進し、農商工業が共に栄える調和のある地域社会、明るく豊かな住

みよい郷土建設のために一層の努力をいたします

三、各種の年金、恩給、医療、雇傭など公正で思いやりのある社会保障制度を充実し、とくに急速に発展している高齢化社会に対応し、不幸な人々に対する思いやりと同様、お年寄りをいたわる社会風潮を盛りあげ、老人に生き甲斐と安らぎをモットーとする新たな日本型高福祉社会の実現につとめます

四、日本経済の安定的発展である中小企業、国民の食生活を守る農漁業の育成振興のための多面的な対策を強化し、中小企業には各種の助成措置を、農漁業には生産基盤の整備、価格と収入の安定化対策を推進してこれに働く多数の人々の生活を守ります

五、徳性と創造力を育む教育、心身ともに健康で活力のある青少年を育成する文教政策を推進いたします

五十四年度予算では筑後、県南地方から要望のあつた七十一の小中学校の新増築、危険及び公害対策の国庫補助の獲得に努めました。今後、このような要望に応え、教育の振興に情熱を傾けます

六、道家族の多年の悲願であり、私の父、橋橋渡が一生懸命に努力した靖国神社法の制定を促進いたします

以上が私の主な政見、公約であります  
来るべき投票日にはぜひ「なら橋進」をばししにご投票をお願いいたします

### 略歴

昭和九年六月 久留米市東町五丁目にて出生  
昭和十九年四月 久留米市南東小学校編入  
昭和二十一年三月 東京晴星高等学校卒業  
昭和二十三年三月 慶応大学経済学部卒業  
昭和二十四年四月 三井物産入社  
昭和四十八年一月 衆議院議員橋渡俊吉  
昭和四十八年十月 衆議院議員に当選  
昭和五十二年十月 衆議院議員選挙に当選

衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

選挙公報

投票日10月7日

福岡県選挙管理委員会



稲富稜人

(76才)

衆議院議員候補者 民社党公認

私の決意

働くものが政治の主役... 早くもこのことが政治の主役

私の主張

- 1 政治腐敗を断ち切り、「公開・参加・責任」の政治を目指す。 2 物価を安定させ、景気の持続的安定をはかる。

私の信念

政治家は一切の私利を捨てて、国家国民のために... 永く問財界と高級官僚・巨匠とに握られつづけて

稲富さんをすいせんします

長い政治経歴と、その田舎人柄に支えられて、稲富さんは国会の外に申しい、党派を超えた稲富

- 福岡県知事 山本 龍一 福岡県議連会長 高木 重治 福岡県地方同盟会長 石井 信二 福岡県農政委員長 大石 一男 福岡県労働組合連合会会長 佐藤 光



高原佐久馬

(53才)

衆議院議員候補者

一経歴

- 大正十五年六月八日福岡県八女郡矢部村大字北矢部 昭和十六年三月福岡県八女郡矢部村大字北矢部尋常高等小学校卒業

三政見

田園都市構想による緑豊かな社会づくり 久留米経済圏構想 有明経済圏構想実現による三池港 住民待望の架橋工事

- 昭和四十二年四月エー・エー・エー株式会社取締役 株式会社山崎組監査役就任

- 昭和四十五年四月福岡県立福岡工業学校機械科卒業 昭和四十七年三月福岡県立福岡工業学校機械科卒業

公営住宅の促進と勤労福祉・市町村の町や地域造りに 公共事業等の促進と勤労福祉・市町村の町や地域造りに 公共事業等の促進と勤労福祉・市町村の町や地域造りに

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
公明党公認

## 轟 恒夫

(49才)

みなさん、

今の政治に、みなさんの心が通っているでしょうか。不毛の論争に明け暮れ

幻の理想を

追いつづけているだけです。

私は、断じて許せません。

私は、国民による

政治の覚醒のため、

正義と、情熱と、実行で、

みなさんの手に

政治を取りもどすため

現実を直視し、

「人間のため」の

政治を目指し、

八十年代の明日を拓くため

心から愛する、郷土のため

全魂こめて闘う決意です。

正義を愛する、みなさん

みなさんのご支援を

心よりお願い申し上げます。

### 私の公約

一、一般消費税の導入・所得増税を断固阻止します。

一、石油危機・インフレから暮らしと仕事を守ります。

一、腐敗政治を追放し、国民の主権を生かす民主政治を確立します。

一、筑後地域を豊かに暮らしよい生活圏に築き上げ、雇用の不安をなくし、親と子供に住める経済圏を確立します。

一、老後生活の不安を解消し、生きがいと住いの安定をはかります。

一、母性を守り、婦人の人権確立と地位を向上します。

一、豊かな人間教育、うるおいある文化、スポーツを実現します。

### 私の略歴

久留米市、高良内町在住

九州電気工学専門学校卒業

福岡市議会議員(二期)

福岡県議会議員(二期)

福岡県監査委員

党福岡県本部書記長

党中央委員

昭和五十一年、衆議院議員

衆議院議員(在任中)

(昭和51・12、昭和54・9)

党国会対策副委員長

党労働局次長

地方行政常任委員

石炭対策特別委員

を歴任



衆議院議員候補者  
自由民主党所属

## 古賀 誠

(39才)

### 古賀誠の決意

私が2才の時、父が戦死しました。毎日、父の遺影に合掌します。父の顔を思い出すことはできません。しかし、母一人で強く私を育ててくれました。私が小学生の頃、母が故荒木万寿夫先生に陳情文を出している姿を、その頃から、心の通う政治、豊かな社会建設のため政治家を志す決意をいたしました。

### 古賀誠の政治姿勢

思いやりのある政治、心の通う政治、これこそ政治に取り組む者の基本姿勢であり、陽のあたらない人々に、陽のあたる政治を目ざし、豊かな生活の確立へ努力します。そして、心のふれあいを十二分に生かした不公平でない高福祉社会を造り、まじめに努力をする者が報われる社会を実現するために、私のこれまでの秘書経験をみなさまのために役立てていただく事を心からお願いいたします。

### 古賀誠のお約束

#### 個性豊かな人間性の創造

国旗や国歌を敬愛し、社会連帯感に結ばれる国民意識の高揚と社会道徳の確立を計り、人間性豊かななまじい国民を育成するため、学校教育、および社会教育の内容と制度を刷新いたします。福岡県本部書記長として、幼児教育を重視し、公私立間の幼稚園の格差是正、特に父母負担軽減のため、国の直接助成を実現します。

#### 恵まれない人々を守る政治

老人に対する感謝と生きがいのある生活、高齢者が働くことにより、減額される不合理な年金制度を改めます。減額される不台とくに戦没者遺族への補償など扶助料の改善へ全力をつくします。

#### 農業は日本を支える大きな柱

健全な農村社会を堅持し、もうかる農業を進め、ため国貨を投じて、生産基盤の整備、改善、活力があり若い人にも魅力のある

雇用労働者の八割を占める中小企業は、国民生活を支える重要な役割を果しており、中小企業の発展なくして日本経済の繁栄も国民生活の向上もありません。

中小企業の構造改善と近代化を抜本的に推進する為、中小企業専任大臣を設置し、中小企業にレベラアップに積極的により努力します。

一般消費税の導入は物価の上昇を招き、中小企業の重大な負担となる。

まず行政整理による冗費の節減、既存の税制の見直しが先決である。

すべてが住みよい環境に

国民生活に密着する水や道路、自然と調和し、生活環境の整備を進める為、思い切った財源を投入し、具体的には大牟田地区の再開発の促進、久留米市を中心とした安住構想の推進へ全力をつくします。

### むすび

これから政治の最大の課題は、「物価の安定、国民ひとりひとりが豊かで安定した生活を送れる経済社会を実現すること」であり、私はこれらのことを皆様と共に語り合い、共に考え、共に悩み、皆様の願いを私の願いとし、その実現を図ることを、お誓いして、皆様の暖かい、ご理解と、ご共感と共に、古賀誠に最後まで、ご支援いただきますよう心からお願いいたします。

### 古賀誠の略歴

山門郡瀬高町に生れ、瀬高町上庄小学校、瀬高中学校、県立山門高校を経て、日本大学商学部卒業と同時に郷土の大先輩である故鬼丸藩之、遠藤政夫岡参議院議員の国会秘書として十二年間、秘書活動一筋に勉強した。郷土の繁栄を願い努力してまいりました。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとりてそのまま印刷したものであります)

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

## ほそや 治嘉

(67歳)

### 私の決意

このたびの総選挙に六たび立候補いたしました。さる三十八年初当選、以後十六年間国会で一生存んぬ、平和を求めつつ、地方財政を中心に、経済、財政、税制など地道な問題にとり組んでまいりました。いま、「地方の時代」が政治のキーワードとなり、私が一貫して追究してきた方向が明るく開かれたつあり、この道に政治信念をかけたきた感激があります。しかし、この言葉を実際の政治路線にのせるのが課題であり、私は貴重な経験と蓄積を生かし全力で努力する決意です。

### 私の基本理念

いま、わが国の政治経済は重大な曲り角に立っています。航空機輸入汚職にみられる政治の腐敗、軍国主義、格差平等、教育、福祉の後退など、改革がせまられており、エネルギー確保は、すぐれて国際問題であります。よって八〇年代へむけ新たな政治を盛りひらくために、まず腐敗政治構造を一掃し、人間中心の福祉型成長をめざす方向に経済の仕組みを変え、格差、不平等をなくしインフレと不況を克服し、国民生活を守ります。平和憲法を守り、日本の軍事大国化路線をやめさせ、積極中立の外交でエネルギー資源を確保し、日本と世界の平和へ努力します。参加と連帯で国民の諸権利を守り、ゆとりある新しい民主主義社会を建設します。この八〇年代へむけての大きな転換を実現するためには、戦後一貫して平和と民主主義を守ってきた日本社会党の前進にかかっています。私は勤労国民のみを心に根ざした行動を基本に頑張り展開をきりひらきます。

### 一般消費税に反対する

総選挙の最大争点は、一般消費税の創設であります。この税は不公平の最たるもの、消費者、中小企業者泣かせの大悪税です。そのうえ青色申告者や低所得者への増税も企図されており、財政再建を推進する道は、高度成長時代の財政構造を改め、支出の合理化、現行不公平税制を改めれば軌道にのると確信します。

### 真の地方の時代を実現

八〇年代は、地方が中心となり、住民参加のもとで、人間尊重、格差と不平等を是正しゆきとどいた教育、福祉、医療を充実し完全雇用をめざし、暮らしやお年寄りや子どもが大切にされ、婦人の平等が保証される、平和と民主主義の社会を創ります。福祉国家建設は、自治、分権、参加による真の地方自治の確立こそが土台であります。そこに「自立」と「連帯」をよめ、地域のそれぞれの特性を生かすことができるので、この「地方の時代」実現へむけ、全力をかためかけます。

### 私の主な経歴

- 横浜高等工業学校応用化学科卒業
- 福岡県議会議員 二期
- 福岡県議会議員 二期
- 社会党福岡県連書記長 四期
- 大牟田市長 二期
- 衆議院議員 連続当選 五回
- 地方自治庁議員
- 九州労働委員会委員
- 石炭対策特別委員
- 社会党中央本部地方政局長
- 社会党中央本部政策審議会副会長



衆議院議員候補  
日本共産党公認

## まついし ひですけ

# 松石 秀介

(51才)

### 十八年の医師の目をおして

そこ苦しんでいる人があるとき、行つてやさしい言葉をかけ、背中をさすつてあげるのが看護であるなら、政治は、いつでもどこでもだれでも安心して医療がうけられ、また治療できるような制度を完備することにあると思います。しかし、いまの医療制度はそうなっていません。大企業にはばく大な利益のほかに、年間二兆円もの税金をまけてやりながら、一般消費税など大衆課税をたくらみ、健保の改悪や老人医療無料制度をなくそうとしています。「貧しさを選ばず、等しからざるを愛う」という語があります。私は十八年の医師の目を通して、みてきた政治の矛盾を正していきたいと思つています。

### 八〇年代に

#### 国民本位の新しい政治を

- 1 前回の総選挙で、自民党が減つても、新身党、公明、民社、新自公などがふえたら、疑獄問題、つとつてみても、悪くはなつたと思つてはみませんが、たしかに共産党は得票はふやしましたが、議席が四十から十九に減つたため、新身党(公明、民社、新自公など)に滅ぼすため、自民党政治はますます反動化し、社会党も公明、民社にひきつられ、しばしば革新の大義を忘れ、国民のためにならない法案が、とんとん通つていきます。こうしたなかでも共産党は力一ぱいがんばつていますが、なんといつても国会は数がものをいいます。共産党の議席がふえることこそ、自民党に打撃をあたえ、社会党をシヤンとさせて、政治を国民本位にかえる原動力ではないかと思つています。八〇年代を暗い不幸の時代にするか、明るい希望の時代にするか。それをきめるのはあなたの一擧です。どうか私の革新の代表として国会で力一ぱい働かせて下さい。
- 2 物価をおさえ、一般消費税など重税に反対し、国民本位に財政を再建します。
- 3 石炭見直し、総合エネルギー公社設立などエネルギー対策を確立し、大牟田の再建をすすめます。
- 4 農、漁業を国の基幹産業として発展させ、中小商工業への助成をつよめます。
- 5 婦人の地位の向上と子どもゆたかな形成、教育の民主的發展をはかります。
- 6 流弊大せきの着工を中止し、水を住民本位に配分させます。
- 7 汚職かくし、金権腐敗政治を一掃し、清潔な政治をすすめます。
- 8 有事立法や小選挙区制に反対し、平和中立の日本をめざします。

### 私の略歴

- 1 旧制東立八女中を経て、三十六年久留米大学医学部卒業、四十一年米の山病院院長に就任。現在の役職
- 2 医療法人親仁会理事長
- 3 社会福祉法人あらぐき会(高取保育園)理事長
- 4 福岡県民主医療機関連合会副会長
- 5 日本共産党福岡県委員会社会福祉対策委員長
- 6 現住所 大牟田市大字今山二一八四の二三

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)



衆議院議員総選挙

(福岡県第四区)

選挙公報

投票日10月7日

福岡県選挙管理委員会



日本社会党公認

中西せき介

(53才)

活気ある郷土をめざして

私は、前回みなさまの暖かいご支援で国会へ送っていただき、以来三年間「台所と職場の争い」を国政に生かし「明るい活気ある郷土」をめざして全力をつくしてまいりました。

休日には必ず地元へ帰り、直接みなさまの声を聞き、机の上で作成した資料しか持たない政府に対し、その生々しい声をもとに追及し、要求の実現を追ってまいりました。

ご承知のように、ロッキードやグラマンなどの汚職にみられるように、大企業から多額の献金をうけている政府・自民党政治が、庶民の暮らしに目をむけるはずはありません。

私は、このような政治を絶対に許さず、物価をおさえ大企業や金持ちにもっと税金を払わせ、庶民の暮らしが豊かになるよう努力いたします。みなさまの暖かいご支援を心からお願ひいたします。

わたくしの十の政策

- 一、一般消費税導入と所得増徴税をやめさせ、不公平税制を改めます。
- 二、石油かくしとそれにもなう物価の便乗値上げをやめさせます。
- 三、生活に不安のない年金、医療制度など社会福祉制度を改革し、社会保障を充実

します。

四、四十人学級と希望者の高校全入をはかり、ゆとりある教育を実現します。

五、特性を生かした中小工業の育成をはかるとともに、雇用不安の解消をはかります。

六、住民の台所と直結した農・漁業をさかんにし、食糧自給の向上をめざします。

七、部落の完全解放のための部落解放基本法の制定をめざして、三大闘争の強化発展につとめます。

八、北九州や産炭地を、新しい誇れる郷土にようめえらせるため、国に強力な対策をせまります。

九、国道の混雑解消を急ぐとともに、国鉄の樹立をはかります。

十、築城基地のF4・F1戦闘機配備に反対し、山田弾薬庫跡地の全面平和利用の実現につとめます。

わたくしの略歴

田川郡香春町生れ。県立田川中学、三重農専(現三重大学)卒。中学・高校教諭として理科・農業教科を担当するともにスポーツを指導。自らも水泳では県代表として国体に連続出場。党中央委員、物価・社会保障政策委員。衆議院文教委員、石炭委員理事。衆議院当選一回。



衆議院議員候補者 自由民主党公認

くら内修治

(61才)

私の政治信条

民主主義政治の目的は、私たち一人一人の生活を守り、より楽しいものにするにすぎません。立派な政治によってこそ、真の平和と幸福が生まれるわけでありませぬ。政治の浄化のため、そのつど選挙法や、政治資金規制法や総裁公選規定などを改正しても腐敗の構造は、逆にますます巧妙且つ根深くなっています。私に恐れるのは、このようにして、せつなく私たちが手にした民主主義も自由社会も崩壊の道をたどることです。政権の維持よりも、国家と国民の生活を大切にすることを私の信条であります。

私の政治公約

一、政治倫理は高き、きびしく航空機汚職事などで、司直の取調べを受けた人たちが運よく刑事責任を免がれたとしても、それは潔白であるというにすぎません。政治をあづかる人は、法律の最低線よりも高い倫理観を持つて、自らを律すべきであります。その厳しさに欠けるために、自民党の構造汚職は跡を絶ちません。私は自民党の中で、党の体質改善に挺身します。

一、一般消費税、中間所得増徴税、不公平税制反対。予算の40%を国債に依存する国家財政を、確かに不健全であります。数年後には別な財源を求めなければならないことは論をまかせません。しかし、直ちに一般消費税の55年度導入や、中間所得増徴に対する増税をはかるのは絶対に反対であります。増税の前に行政改革や徹底した経費の節減、税の自然増収の見込等を明示し、税に対する不公平感を一掃して、国民の理解と協力を求めるべきであります。

一、エネルギー政策の確立

国民生活に最も関係が深いエネルギー問題は、48年の石油ショック以後、資源ナシナリズムや原油の供給不安定、価格の暴落によって、先進国についてもインフレ、不況を招く大きな問題となっています。特にわが国はエネルギーの安定供給がなければ国民生活の維持向上も、経済の成長も考えられませぬ。政府はエネルギーの事情を卒直に国民に説明し節約の協力を求めると共に必要不可欠の産業には絶対に供給を確保して、国民生活

の不安を除く必要があります。また、代替エネルギーの開発、推進は長期的視野に立つ大方針を確立すべきであります。

一、農業の将来に明るい展望を。農業は、食糧の安定供給という重要な使命を担っています。また農村は、健全な社会の発展に不可欠の重要基盤でありませぬ。農業の未来を築き、明るい農村を建設することは、食糧自給率の向上の為に絶対必要であります。このためには農作物の生産基盤を整備し、農産物の価格の安定をはかり、中核農家を育成して、農業の近代化を進め、優秀な子弟を農村に定着させ、将来の夢と希望のある産業とす。きてであります。

一、老齢化社会に備えよう。社会は急速に老齢化しつつあります。老齢化社会に最も大切なことは、老人のための施設よりも、老人を暖かく守る家庭環境をつくるというところであります。だから私は、家庭基礎の充実こそ、最良の老齢化社会対策であると考へます。親や老人を大切にすることは、また、教育の原点でもあります。

一、恩給と戦後案件の解決は国の倫理。退職公務員、教員の文官恩給、旧軍人の軍恩、遺族の公務員扶助などは国民に対する国の義務であります。それで私は、内閣委員長として、職権で恩給法を更改しました。金銭的章が無価値になったり、従軍看護婦の労苦が正當に酬われずシベリア抑留者も公正な補償も受けられない現状では、国は責任を果してはいけません。靖国神社の国家護持も同様です。私は、必ずこれを解決します。

一、豊かな郷土づくり。産炭地関係六法の期限はその目的が達成されるまで延長します。

(2) 十号線は、全国国道で最高の子算伸び率で事業費をかけており、ハイウェイ化は軌道線になりました。これからは東九州縦貫道は計画線から実施線に移してゆかなければなりません。

(3) 水は昨年より不足が必す、またやってくる。これに備えて、経年ダム、特に、すべとの河川に河口ダムを造り貯水する方策をとるべきであります。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 選挙公報

投票日 10月7日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本共産党公認

## 三浦久

みづら ひさし  
(48才)

### 私の決意

私は前回の選挙で、僅か二〇〇票差で次点になりました。あれから三年有余たりましたが、この間の皆様方の心あたまる激励を忘れることはできません。公明党、民社党が三年間ますます自民党よりなる中で、大平内閣は、ロッキード疑獄、天井知らの物価値上げ、石油不安などに何等の手をうたず、総選挙後に目おしの公共料金値上げと通税によって、国民生活憔悴の政治をすすめておられます。また革新系に背を向けてる社会党では、自民党のこの悪政を有効に闘うとはしていません。私は、衆議院議員の当時、ロッキード疑獄追及の先頭にたち、国鉄、私鉄の値上げ阻止のため全力をつくしました。今度こそあなたの支持でぜひもう一度国会に送ってください。議員としての実績と、弁護士生活二〇年の経験を余すことなく發揮して、統一戦線の力によって、革新の未来に希望の灯をともし、八〇年代を国民本位の政治にするための奮闘します。

### 一、私の公約

- 1 物価値上げに歯止めをかけます。  
当面、国鉄運賃など大型公共料金を凍結するとともに、値上げの措置を除くための対策を強めます。  
石油大企業の特権的値上げの規制、原価の公開などで石油製品の値上げをおさめます。
- 2 一般消費税、中低所得者層への所得増徴税に反対します。  
大企業優遇の不公平税制の改正、軍事費削減、大企業奉仕の大衆公共投資の削減で合計四兆円の財源を確保します。
- 3 エネルギー不安を解消します。  
対米従属のエネルギー政策をなく、自主的な産油国との資源外交、石炭、水力など国内資源の復興と開発総合エネルギー公社の設立をすすめます。  
金種、徴収政治をなくします。
- 4 財政健全化を徹底します。  
企業献金、官俸の天引き禁止、行政監視官の制度化、大企業への不正経理を廃止し、婦人の地位向上と教育の民主的発展をはかります。  
働く婦人の身分を保障し、雇用、賃金上の差別をなくします。また老後保障の確立と妻の法定相続分をふやすようにします。
- 5 平和と民主主義を守ります。  
日米安保条約を廃棄するとともに、有事立法、小選

区別など政治反動を阻止し、日本の平和と民主主義を守ります。  
民主連合政府の樹立をめざします。  
八〇年代に国民本位の日本をくくるための、革新統一戦線の樹立と民主連合政府の樹立をめざします。

### 二、郷土の発展のために

小倉 国道一〇号線、三三号線の高速解消、モノレール、区画整理の民主的解決、大型スーパーなどの出店を規制し、地元商業の振興をはかります。  
門司 国政、合理化に反対し、港町の振興とすずかな住みよい環境の街づくりをすすめます。  
田川 鉱石切り、炭住改良、雇用の増大をはかり、国鉄のローカル化切り捨てと割増賃金制に反対し、産炭地復興をすすめます。  
京築 農業用水を確保し、都市近郊農業の発展と通勤者対策をつよめ、住居環境を整備します。  
周和 一部落解放の名をかねて、一部幹部の不正や暴力、利権あさりをおさめ、公正、民主的を行政をすすめます。  
基地 築城へのドミ配備に反対し、山田海軍基地の全面平和利用をめざします。

### 私の経歴

- 昭一九九年 明治大学法学部卒業
- 昭二四年 弁護士開業、総評弁護士加入、三池闘争現地常駐弁護士、日教組学力テスト反対闘争参加
- 昭四三年 北九州大の、北九州第一法律事務所を開設
- 昭四五年 北九州大の、北九州第一法律事務所を開設
- 昭四六年 北九州市長選に立候補、一九九万の支持を得る
- 昭四七年 衆議院議員に当選、運輸委員会理事、ロッキード問題調査特別委員、同事件調査団として渡米
- 昭五一年 衆議院選挙に立候補(代志)

### 私は推せんします

- 作曲家 いずみたく 国労小倉工場 池田 光四郎
- 俳優 永井 智雄 郷土玩具 大辻万穂子
- 映画監督 山本 薩夫 北九州市 大坪 利雄
- 弁護士 内田 茂雄 全日労働団 大村 優
- 医学博士 梅田 玄勝 監査委員会 平田 芳香



公明党公認

## かじ清

かじ きよし  
(51才)

### 心のかよった庶民の政治をめざします

私はリンカーンの「人民の人民による人民のための政治」という言葉が好きです。しかし、いま真に「人間のための政治」が行われていないといえるでしょうか。たとえば、政府は財政再建のために増税をおこなおうとしております。しかし、政府の失敗で生じた赤字をなぜ国民が負担しなければならぬのでしょうか。また、ロッキードにつづく、ダグラス、グラマンの航空機疑惑は、またウヤムヤになろうとしています。この現実には、私は、心から怒りを覚えます。政治はいつも庶民のためになければなりません。私は、この人間のための政治を実現するため、皆様の健康と生活を守るために、身を粉にして働いてまいります。どうか、再び皆様のあたたいご支援を心からお願いたします。

### 私の主張

- 一、物価の安定と雇用の創出  
1 生活必需品の不当値上げの抑制、所得税は二百九十万円まで無税にさせます。  
2 特定不況業種および地域対策の強化と、雇用保険法の改善を行います。  
3 中高年齢者に対する雇用差別をなくし、定年制の延長、退職金の増額などを促進し、雇用対策の強化をはかります。
- 二、増税の防止  
1、国民の生活を圧迫する一般消費増税と所得増税を防止します。
- 三、母子の健康を守る  
1、好産物、乳幼児の保健費を大幅にふやします。  
2 出産費を十五万円まで公費で保障します。  
3 現行法の欠陥を大きく改正し、奨励金の強化拡充や義務規定を明確化します。
- 四、中小企業の経営安定  
1 特定不況業種、地域産業、特産品などに対する特別措置を講じます。  
2 小規模事業者のための無利子、無担保、無保証制度の創設をはかります。  
3 中小企業向け官公費の増大と下請企業振興協会の強化をはかります。
- 五、教育の充実  
1 私学の振興と教育費負担の充実をはかります。  
2 障害児教育の充実をはかり、ゆきこい教育費が保障できるように整備します。
- 六、国十号線の選線緩和  
1 パイパスの建設、十号線の拡幅をし、交通の滞り緩和をはかります。  
2 産炭地の復興
- 七、産炭地の復興  
1 鉱産復旧の推進と産炭地の復興をはかります。

### 私もかじ清さんを推せんします

- 公明党委員長 竹入義勝 東洋大学学長
- 九州工業大学 岡崎一三三 会長 自治会会長
- 小倉 高松 藤井寛二 社長 高松 藤井寛二 社長
- 明徳高等学校 藤井寛二 校長
- 小倉 高松 藤井寛二 校長
- 小倉 高松 藤井寛二 校長
- 中村 繁夫 会長 藤井寛二 社長
- 竹内清治 会長 藤井寛二 社長
- 小倉北区分会 米町小学校卒業
- 旧制小倉中学校卒業
- 明治専門学校現九工大 卒業
- 北九州市議会議員当選 (連任二期)
- 衆議院議員当選 (一期)

(3) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 10月7日

投票用紙は、衆議院議員総選挙…白色の紙に **黒刷り**、  
最高裁判所裁判官国民審査…白色の紙に **赤刷り** です

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

不在者投票は…投票日にやむを得ない用務で投票所に行けない人や、病気・出産などのため歩けない人は前もって **不在者投票** をすることができます。  
(くわしくは、近くの選挙管理委員会へおたずねください。)

一票の自覚が  
ひらくよい政治

福岡県選挙管理委員会